

令和3年度 協働型学校評価の重点目標の設定に向けて

「自分の長所が分かり、それを生かして学校生活を送ることができる児童を70パーセント以上にする。」

＜本校児童の課題＞

進んでコミュニケーションが取れない。また、小規模校のためか、挑戦したり競争したりする姿があまり見られない。

＜学校教育目標におけるめざす児童像＞

「進んで学ぶ子」 ・学習ルールや学び方を身に付け、自分の考えを積極的に発表する子供
「助け合う子」 ・自他を思いやり、善悪の判断を正しくできる子供
「頑張りぬく子」 ・困難に負けず、チャレンジしようとする行動力と強い心を持つ子供

☆目指す子どもの姿

| | |
|-----|---|
| 低学年 | <ul style="list-style-type: none">・元気よく挨拶を行う。・自分にも良いところがあることを知り、楽しく学校生活を送る。・めあてを持って活動や行事に取り組み、自分の頑張りを振り返る。 |
| 中学年 | <ul style="list-style-type: none">・進んで挨拶を行う。・自分や友達の良さに気付き、楽しく学校生活を送る。・目標を持って活動や行事に取り組み、自分の頑張りを振り返ったり友達の頑張りを認めたりする。 |
| 高学年 | <ul style="list-style-type: none">・校内だけでなく地域の方々へも進んで挨拶を行う。・自分だけでなく友達の良さを認めて、学校生活をよりよいものにしようとする。・目標に向かって挑戦し、自分の頑張りを振り返ったり友達の頑張りを認めたりし、新たな目標に向かうことができる。 |

☆具体的な取組

学校の取組

＜学年（学級）・個人で取り組む手立て＞

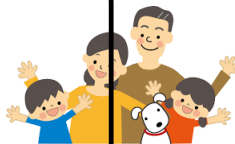
＜学校全体で取り組む手立て＞

- ・学習や行事のねらいを指導する際、自分のめあてを考えるようにさせる。
- ・学年の初め、中、終盤で、自分の活動について「目標」「成果」「課題」を考える時間を設定する。
- ・自分の長所を生かして学校生活を送ることを意識させる。



家庭の取組

- ・自分の子の良いところを意識して褒める。
- ・できないことを責めず、次にどうしたら良いかを話し合い、励ます。
- ・学校・家庭以外の環境に子供を積極的に連れて行き、そこでの活動を見守り、励ます。



地域の取組

- ・子供会や地域行事に子供を参加させ、その活動を認め励ます。
- ・地域で積極的に挨拶の声掛けをする。
- ・学校の教育活動に積極的に参加し、児童と関わりながら、児童の活躍を見守り励ます。

